

# 投資情報ウィークリー

2016年10月3日号  
調査情報部

## 今週の見通し

先週の東京市場は不安定な展開となった。米大統領候補者のテレビ討論会でのクリントン候補の優勢や予想外の OPEC 減産合意を受けた原油価格の反転などから、買い戻しの動きも見られたが、ドイツ銀行の経営不安を嫌気した欧米株安から見送り商状となった。原油高を背景に資源関連が買われたほか、人工知能(AI)関連など、新興市場を中心に中小型株が総じて堅調だった。米国市場は原油相場の反発を受けて上昇する場面も見られたが、ドイツ銀問題が足を引っ張った。為替市場でドル円は、米長期金利や原油価格動向にらみとなり、1ドル101円前後で一進一退の動きとなった。ユーロ円も一時1ユーロ112円台を付ける場面があったが、その後は113円台後半に押し戻された。

今週の東京市場は、底堅いものの、上値の重さも意識されよう。経済指標や為替動向にらみとなるものの、決算発表が近づき、業績修正も増加するとみられ、徐々に企業業績に関心が移ろう。また、ノーベル賞関連などテーマ物色も続くと思われる。米国市場はドイツ銀問題がくすぶるほか、大統領選の行方で不透明感が強まるものの、企業業績は堅調とみられ、総じて底堅い展開となろう。為替市場は、原油相場や長期金利動向を映して、ドル円が1ドル100円~103円、ユーロ円は112円~115円の動きとなろう。

今週、国内では3日(月)に9月の日銀短観、4日(火)に9月の消費動向調査、7日(金)に8月の毎月勤労統計、景気動向指数が発表されるほか、4日から7日まで「シーテックジャパン2016」が開催される。一方、海外では3日に9月の米ISM製造業景況指数、5日(水)に8月の米貿易収支、7日に9月の米雇用統計が発表されるほか、6日(木)にG20財務相・中央銀行総裁会議、7日から9日(日)にIMF・世銀年次総会、9日に米大統領候補第2回テレビ討論会が行われる。さらに、3日から10日(月)にかけてノーベル賞各賞の発表が行われる。

テクニカル面で日経平均は、ここ1か月ほど、おおむね75日線(16359円:30日現在)と200日線(16773円:同)の間でもみ合いが続いている。また、週足一目均衡表では抵抗帯下限(16787円:同)が上値を抑えている。一方、週足では2014年7月以来となる13週線と26週線のゴールデンクロスが示現し、先高観が高まりつつある。200日線を上回れば、12日に空けた窓(16902円)や9月5日高値(17156円)、さらに今年まだ上回ることが出来ない52週線(17170円:同)を目指す展開となろう。一方、26週線(16422円:同)や75日線を維持できないと、週足一目均衡表の基準線(16262円:同)や8月4日安値(15921円)を意識した動きとなろう。(大谷 正之)



【留意事項】 この資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資に関する最終決定はご自身の判断をお願いします。本資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成したものです。その正確性、完全性を保証したものではありません。本資料に示された意見や予測は、資料作成時点での当社の見通しであり今後予告なしに当社の判断で随時変更することがあります。また、本資料のコンテンツ及び体裁等も当社の判断で随時変更することがあります。

9/30 15:22



**【留意事項】** この資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資に関する最終決定はご自身の判断でお願いいたします。本資料は信頼できる情報に基づいて作成したもので、その正確性、完全性を保証したものではありません。本資料に示された意見や予測は、資料作成時点での当社の見通しであり今後予告なしに当社の判断で随時変更することがあります。また、本資料のコンテンツ及び体裁等も当社の判断で随時変更することがあります。

★中間期予想に対する第1四半期実績の進捗率が高い主な好業績銘柄群

為替の円高から、第1四半期実績が厳しい決算となった企業が目立つ中、中間期見直しに対する第1四半期実績の進捗率が高水準となっている銘柄も存在している。バリュエーション的に割安な銘柄も多く、今後、中間期見直しを上方修正してくる可能性が高いと見られる企業も散見され、注目したい。(野坂 晃一)

表. 営業利益で中間期予想に対する第1四半期実績の進捗率が高い主な好業績銘柄群

コード 銘柄	株価(円)	予想PER (倍)	実績PBR (倍)	予想利回り (%)	進捗率(%)	中間期予想営業利益伸率(%)	通期予想営業利益伸率(%)	25日乖離率(%)	75日乖離率(%)
8131 ミツウロコG	589	13.97	0.53	2.72	201.75	200.75	22.15	11.51	15.05
4516 日新薬	5500	43.59	3.55	0.64	138.25	51.66	34.52	9.14	4.57
6641 日新電	1674	17.89	2.36	1.31	101.92	28.93	20.73	4.22	6.77
2899 永谷園HD	1334	27.10	1.62	1.16	92.63	7.34	10.01	5.36	8.33
3002 グンゼ	335	24.09	0.63	2.24	92.35	8.42	9.23	6.46	11.72
6644 大崎電	1034	29.87	1.22	1.16	90.76	67.16	9.68	5.81	17.07
8934 サンフロ不	1006	7.68	1.36	2.78	89.25	12.39	15.07	-1.38	-1.72
5706 三井金	216	30.84	0.78	2.78	87.74	45.43	88.56	2.53	9.56
3167 TOKAI	660	12.00	1.80	3.33	84.91	82.11	52.33	3.71	2.01
9302 三井倉HD	313	35.34	0.66	3.19	82.23	59.42	82.54	2.50	10.29
4008 住友精化	3540	9.39	0.95	2.12	81.32	14.02	8.05	1.70	7.84
1333 マルハニチロ	2765	16.17	1.73	1.08	80.43	30.72	6.06	9.52	5.28
5451 淀川鋼	2758	14.75	0.61	2.03	75.84	41.12	13.67	2.60	5.11
7905 大建工	1965	11.84	1.15	2.54	73.25	14.19	7.41	3.49	12.08
7241 フタバ	518	72.47	0.97	0.58	71.00	260.92	28.16	2.72	4.46
2288 丸大食	495	22.43	0.91	1.41	70.00	9.97	5.57	3.70	3.22
8281 セビオHD	1539	16.68	0.59	2.27	69.56	13.27	44.77	-2.49	2.01
8086 ニプロ	1323	12.35	1.49	3.06	69.08	15.01	24.77	1.52	3.11
6222 島精機	2762	13.50	0.98	1.63	68.93	176.10	98.93	14.99	28.38
5344 MARUWA	3860	16.73	1.16	1.04	68.75	8.70	14.11	6.57	12.21
2613 Jオイル	3725	18.78	0.77	2.42	66.08	61.39	7.90	7.02	8.44
4043 トクヤマ	421	8.61	2.69	-	65.73	92.08	38.70	10.16	26.47
2281 プリマ	369	17.20	1.45	1.08	65.68	13.31	13.02	5.00	11.03
7731 ニコン	1527	20.17	1.20	2.10	64.92	58.22	25.34	1.02	3.91
9790 福井コン	2454	36.85	5.33	0.81	64.39	8.62	9.47	15.95	22.10
2264 森永乳	807	24.33	1.52	0.87	63.44	13.75	14.55	11.74	12.30
4528 小野薬	2839.5	26.97	3.18	1.41	62.71	90.92	137.65	4.81	-18.42
2602 日清オイリオ	477	13.21	0.68	2.10	62.42	23.56	20.14	4.30	1.82
2181 テンプHD	1790	20.89	3.20	0.78	61.71	12.80	13.00	6.82	5.79
8043 スターゼン	5170	14.27	1.24	1.74	61.68	62.67	22.64	10.06	21.40
4676 フジHD	1395	14.02	0.51	2.87	61.36	128.34	11.50	6.11	11.79
3104 富士紡HD	3000	9.81	1.27	2.33	61.00	106.94	51.77	2.12	6.96
8897 タカラレーベ	686	8.25	2.19	2.19	60.66	175.94	98.33	0.43	-8.66
4471 三洋化	4460	10.14	0.89	2.02	60.41	9.65	10.52	3.46	5.09
1942 関電工	942	13.55	1.00	1.70	59.92	87.04	34.02	2.35	5.90
9437 NTTドコモ	2564	14.94	1.80	3.12	59.86	8.09	16.22	-1.72	-5.27
5707 東邦鉛	327	22.20	1.01	1.53	59.86	607.25	164.85	1.91	-0.68
9684 スクエニHD	3460	20.60	2.53	1.18	59.66	19.21	15.30	8.56	7.53
6330 東洋エンジ	334	12.81	1.19	1.80	59.17	35.87	12.74	3.65	1.28
2413 エムスリー	3455	78.21	20.73	0.29	59.07	14.65	14.87	9.14	3.65
3092 スタートゥ	1717	35.07	29.65	1.20	58.95	21.27	24.69	4.03	1.92
2201 森永	4835	25.16	3.25	0.72	58.42	36.34	24.83	10.24	29.74
7575 日本ライフL	4645	18.77	5.19	0.75	58.08	128.37	85.57	1.35	5.76
4183 三井化学	494	11.23	1.31	1.82	58.00	6.25	12.79	3.69	15.32
5202 板硝子	842	15.21	1.26	-	56.94	105.32	60.11	2.77	9.63
2004 昭和産	535	11.97	1.24	1.87	56.90	16.48	15.71	5.23	10.88
3941 レンゴー	625	10.67	0.72	1.92	56.13	114.26	52.60	-0.27	-2.87
8806 ダイビル	889	17.28	0.73	1.80	55.42	12.52	9.72	-3.86	-3.63
6768 タムラ	385	9.87	0.90	2.08	55.19	7.80	5.49	1.18	14.46
8078 阪和興	616	9.63	0.83	2.92	55.01	10.16	15.52	4.06	8.30

\*指標は9/29時点、進捗率は中間期予想に対する第1四半期実績、QUICKデータより証券ジャパン調査情報部作成

【留意事項】 この資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資に関する最終決定はご自身の判断でお願いいたします。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成したのですが、その正確性、完全性を保証したものではありません。本資料に示された意見や予測は、資料作成時点での当社の見通しであり今後予告なしに当社の判断で随時変更することがあります。また、本資料のコンテンツ及び体裁等も当社の判断で随時変更することがあります。

## 保土谷化学工業(4112・東 1)

今年12月に創業100周年を迎える中堅化学メーカー。有機ELの発光効率を高める輸送材料を主要パネルメーカーに納入している(機能性色素事業)ほか、医薬中間体や農薬、樹脂などの特殊化学品(機能性樹脂事業)、過酸化水素水などの基礎化学品を手掛けている。17/3期第1四半期(4-6月)業績は売上高が前年同期比2.1%減の75.7億円、営業利益は1.8億円で黒字転換となった。前期に引き続き、有機EL材料や建築用樹脂、ウレタン系防水材料の競争激化、殺虫剤の在庫調整などから前年同期比減収となったが、原燃料価格の下落やコストダウンの効果で増益となった。17/3期通期業績は売上高が前期比0.5%増の340億円、営業利益が同20.8%増の10億円を見込む。今後、有機EL材料の採算改善が寄与する見通しだが、来期はさらに増産効果や需要拡大も予想され、中期的な高成長が期待されよう。(大谷 正之)



## 日本ゼオン(4205・東 1)

低燃費タイヤ原料であるS-SBR(溶液重合法スチレンブタジエンゴム)を住友化学と事業統合に向けた検討を開始する基本合意をし、12月末までに最終契約が見込まれる。環境問題で自動車の燃費規制が強化される中、独VWや三菱自動車の不正問題などもあって低燃費タイヤの需要拡大が今後見込まれている。S-SBRで先行しているJSRを追い上げるため、増産投資負担が重い同社とS-SBRでは苦戦する住友化学が組んで収益拡大を目指す。なお、第1四半期の営業利益は前年同期比10%減少した。リチウムイオン電池用のバインダーや香料用化学品などの好調によって高機能材料事業が増益だったものの、円高、汎用ゴムが国内タイヤメーカーの減産などの影響、顧客の在庫調整でゼオンアフィルムが苦戦した影響が出た。通期の営業利益は前年比6%減の280億円を見込む。また、注目されるカーボンナノチューブは2015年度に量産工場を建設・稼働し、今年度は既存事業との融合で新用途を創出する計画。(増田 克実)



【留意事項】この資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資に関する最終決定はご自身の判断でお願いいたします。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成したものです。その正確性、完全性を保証したものではありません。本資料に示された意見や予測は、資料作成時点での当社の見通しであり今後予告なしに当社の判断で随時変更することがあります。また、本資料のコンテンツ及び体裁等も当社の判断で随時変更することがあります。

## 今週の参考銘柄

### 大崎電気(6644・東 1)

電力量計の国内トップメーカーで、電力会社向けが中心。先に、FPD 用製造装置を手掛ける大崎エンジニアリングを TOB で完全子会社化した。17/3 期第 1 四半期(4-6 月)業績は売上高が前年同期比 21.0%増の 183.5 億円、営業利益が同 32 倍の 15.4 億円となった。主力の計測制御機器事業では本格普及期を迎えた電力会社向けスマートメーターが順調に増加しているほか、シンガポール子会社の損益改善によって海外も堅調だった。一方、FPD 関連装置事業は引き続き苦戦したものの、営業赤字幅は若干縮小した。電力小売り自由化の進展に伴って、今後もスマートメーターの需要拡大とシェア向上が続くとみられるほか、生産性向上による利益率改善も予想される。なお、9 月 30 日に会社側は上期及び通期の業績予想及び配当予想の修正を発表した。通期の売上高は従来予想の 825 億円から 840 億円、営業利益は同 41 億円から 64 億円、配当は同 12 円から 16 円にそれぞれ修正した。(大谷 正之)



## その他

### ソニー(6758)

10 月 13 日に発売予定の「プレイステーション VR」が注目される他、イメージセンサーの自動運転や IoT など成長分野への展開などが期待される。

### 市光工業(7244)

日産自動車の新型「セレナ」向けに電子ルームミラー「デジタル式インサイトカメラモニターシステム」の生産を開始。電子ミラーは、ドアミラーやルームミラーの代わりにカメラとディスプレイで確認するもので、安全・安心に繋がる他、空気抵抗が減ることで低燃費、風切り音の抑制などが見込める。同社は親会社のヴァレオの技術力、グローバル力を活かせることが出来よう。

### ナブテスコ(6268)

産業用ロボット向けの精密減速機が堅調に推移しそうな他、国内で高シェアを持つ鉄道関連、ボーイング社向けの航空機器など中期的な拡大が期待されよう。

### 富士通ゼネラル(6755)

主力の空調機器は全て海外生産のため円高がメリットとなろう。なお、第 1 四半期決算発表時に中間期及び通期の業績予想を上方修正している。

(増田 克実)

【留意事項】この資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資に関する最終決定はご自身の判断でお願いいたします。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成したものです。その正確性、完全性を保証したものではありません。本資料に示された意見や予測は、資料作成時点での当社の見通しであり今後予告なしに当社の判断で随時変更することがあります。また、本資料のコンテンツ及び体裁等も当社の判断で随時変更することがあります。

## タイムテーブルと決算予定(予定は変更になる場合があります)

### <国内スケジュール>

#### 10月3日(月)

9月日銀短観(8:50)

16年度上半期、9月の新車販売(14:00、自販連・全軽協)

上場 西日本フィナンシャルホールディングス<7189>東証1部・福証

D. A. コンソーシアムホールディングス<6534>東証2部

#### 10月4日(火)

9月日銀短観「企業物価見通し」(8:50)

9月マネタリーベース(8:50、日銀)

9月消費動向調査(14:00、内閣府)

シーテックジャパン2016(7日まで、千葉・幕張メッセ)

#### 10月5日(水)

9月景気動向調査(13:30、帝国データ)

#### 10月6日(木)

16年度上半期、9月車名別新車販売(11:00、自販連)

#### 10月7日(金)

8月毎月勤労統計(9:00、厚労省)

8月景気動向指数(14:00、内閣府)

8月消費活動指数(14:00、日銀)

上場 キャピタル・アセット・プランニング<3965>ジャスダック

### <国内決算>

#### 10月3日(月)

時間未定 <1Q>クリエイトSDH<3148>

<2Q>しまむら<8227>

<3Q>キューピー<2809>、不二越<6474>、象印<7965>

#### 10月4日(火)

15:00~ <2Q>Jフロント<3086>

#### 10月5日(水)

15:00~ <2Q>ABCマート<2670>、良品計画<7453>

時間未定 <2Q>イオン<8267>、イオンモール<8905>

#### 10月6日(木)

15:00~ <2Q>7&i HD<3382>、乃村工芸<9716>

時間未定 <1Q>パナソニック<2168>

<3Q>OSG<6136>

#### 10月7日(金)

15:00~ 島忠<8184>

<2Q>オンワードHD<8016>、高島屋<8233>

時間未定 <1Q>サカタタネ<1377>

<2Q>CVSベイ<2687>、ポプラ<7601>、チヨダ<8185>、吉野家HD<9861>

【留意事項】この資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資に関する最終決定はご自身の判断でお願いいたします。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成したものです。その正確性、完全性を保証したものではありません。本資料に示された意見や予測は、資料作成時点での当社の見通しであり今後予告なしに当社の判断で随時変更することがあります。また、本資料のコンテンツ及び体裁等も当社の判断で随時変更することがあります。

## タイムテーブルと決算予定(予定は変更になる場合があります)

### <海外スケジュール・現地時間>

#### 10月3日(月)

米 9月ISM製造業景況指数

米 8月建設支出

米 9月新車販売

ノーベル医学生理学賞発表

休場 中国(国慶節、7日まで)、韓国(建国記念日)、マレーシア(ヒンドゥ教新年)、独(独統一記念日)、

#### 10月4日(火)

ノーベル物理学賞発表

休場 中国(国慶節)

#### 10月5日(水)

ECB定例理事会(金融政策発表、記者会見なし)

米 9月ADP全米雇用報告

米 8月貿易収支

米 9月ISM非製造業景況指数

米 8月製造業出荷・在庫・受注

ノーベル化学賞発表

休場 中国(国慶節)

#### 10月6日(木)

G20財務相・中央銀行総裁会議(ワシントン)

休場 中国(国慶節)

#### 10月7日(金)

米 9月雇用統計

米 8月卸売売上高

米 8月消費者信用残高

IMF・世銀年次総会(9日まで、ワシントン)

ノーベル平和賞発表

休場 中国(国慶節)

#### 10月9日(日)

米大統領選候補による第2回テレビ討論(ミズーリ州)

#### 10月10日(月)

ユーロ圏財務相会合(ルクセンブルク)

ノーベル経済学賞発表

米韓合同軍事演習(15日まで)

休場 米(政府、為替、債券休場、株式、商品市場は通常取引)(コロンブスデー)、カナダ(感謝祭)、  
香港(重陽節)、台湾(国慶節)

### <海外決算・現地時間>

#### 10月5日(水)

モンサント

【留意事項】この資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資に関する最終決定はご自身の判断でお願いいたします。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成したものです。その正確性、完全性を保証したものではありません。本資料に示された意見や予測は、資料作成時点での当社の見通しであり今後予告なしに当社の判断で随時変更することがあります。また、本資料のコンテンツ及び体裁等も当社の判断で随時変更することがあります。

## 投資にあたっての注意事項

### ●手数料について

○国内金融商品取引所上場株式の委託取引を行う場合、一取引につき対面取引では約定代金に対して最大 1.2420% (税込) (但し、最低 2,700 円 (税込)) の委託手数料をご負担いただきます。また、インターネット取引では、「約定毎手数料コース」においては、1 取引の約定代金が 100 万円以下の場合は 1 取引につき 540 円 (税込)、1 取引の約定代金が 100 万円超の場合は 1 取引につき 1,080 円 (税込) の委託手数料をご負担いただきます。「1 日定額コース」においては、1 日の約定代金 300 万円ごとに 1,620 円 (税込) の委託手数料をご負担いただきます。

募集等により取得する場合は購入対価のみをお支払いいただきます。

※1 日定額コースは、取引回数 (注 1) が 30 回以上の場合、現行の手数料に加えて 21,600 円 (税込) の追加手数料を加算させていただきます。(注 2)

注 1 取引回数=約定に至った注文の数

注 2 複数市場へのご注文は市場ごとに 1 回の注文となります。

○外国金融商品取引所上場株式の外国取引を行う場合、売買金額 (現地約定代金に買いの場合は現地諸費用を加え、売りの場合は現地諸費用を差し引いた額) に対して最大 1.2960% (税込) の取次手数料をご負担いただきます。

○非上場債券 (国債、地方債、政府保証債、社債) を当社が相手方となりお買付けいただく場合は購入対価のみをお支払いいただきます。

○投資信託の場合は銘柄ごとに設定された販売手数料及び信託報酬等諸経費等をご負担いただきます。

○外貨建て商品の場合、円貨と外貨の交換、または異なる外貨間の交換については、為替市場の動向に応じて当社が決定した為替レートによります。

### ●リスクについて

○株式は、株価変動による元本の損失を生じるおそれがあります。また、信用取引を行う場合は、対面取引においては建玉金額の 30% 以上かつ 100 万円以上、インターネット取引においては建玉金額の 30% 以上かつ 30 万円以上の委託保証金の差し入れが必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が多額となり差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。外国株式の場合、為替相場によっても元本の損失を生じるおそれがあります。

○債券は、金利水準の変動等により価格が上下することから、元本の損失を生じるおそれがあります。

外国債券は、金利水準に加えて、為替相場の変動により元本の損失を生じるおそれがあります。

○投資信託は、銘柄により異なるリスクが存在しており、各銘柄の組入有価証券の価格の変動により元本の損失を生じるおそれがあります。各銘柄のリスクにつきましては目論見書等をよくお読み下さい。

●お取引にあたっては、開設された口座や商品ごとに手数料等やリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、お客様向け資料等をよくお読み下さい。これら目論見書等、資料のご請求は各店の窓口までお申出下さい。

●銘柄の選択、投資に関する最終決定はご自身の判断でお願いいたします。

●本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成したのですが、その正確性、完全性を保証したものではありません。本資料に示された意見や予測は、資料作成時点での当社の見通しであり今後予告なしに当社の判断で随時変更することがあります。また、本資料のコンテンツ及び体裁等も当社の判断で随時変更することがあります。

2016 年 9 月 30 日現在、金融商品取引所の信用取引の禁止措置等の規制銘柄は当レポートより除外しております。今後、金融商品取引所等により新たな規制が行われる可能性があります。

### ●当社の概要

商号等：株式会社証券ジャパン 金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第 170 号

加入協会：日本証券業協会

コンプライアンス推進部審査済 2016 年 9 月 30 日

【留意事項】この資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資に関する最終決定はご自身の判断でお願いいたします。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成したのですが、その正確性、完全性を保証したものではありません。本資料に示された意見や予測は、資料作成時点での当社の見通しであり今後予告なしに当社の判断で随時変更することがあります。また、本資料のコンテンツ及び体裁等も当社の判断で随時変更することがあります。